

令和8年度 授業計画書（シラバス）

分野	専門分野		開講時期	1年前期	
授業科目名	生活援助技術Ⅲ 活動・休息		単位数	1単位	
			時間数	20時間	
講師名	菊池 宏美	所属	岩手県立一関高等看護学院		資格・免許
		職名	専任教員		
事前学習内容					
テキストの授業内容に関連する部分を学習しておく					
科目全体のねらい					
対象の生活の状態に応じた活動と休息の知識を学び、看護を実践する					
教育目標との関連					
(3) 人間を、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルに統合された存在として理解することができる。					
(5) 看護師としての責務を自覚し、高い倫理観をもって看護を実践することができる。					
(6) 科学的根拠に基づき、健康状態や生活の場に応じた看護を実践することができる。					
科目目標					
活動と休息の意義を理解し、アセスメントする					
運動機能の維持・回復のための援助を理解し、実践する					
運動機能の低下した人の援助を理解し、実践する					
安静保持の援助を理解し、実践する					
睡眠の援助を理解する					
回	授業内容			方法	
1	活動・休息、活動のアセスメント			講義	
2	運動機能の維持・回復のための援助			講義	
3	運動機能の低下した人の援助 (体位変換：左右への移動、仰臥位から側臥位)			講義・演習	
4	運動機能の低下した人の援助 (体位変換：側臥位から仰臥位、上方への移動、枕を除く方法)			講義・演習	
5	運動機能の低下した人の援助 (体位変換：仰臥位からファウラー位、仰臥位から長座位)			講義・演習	
6	運動機能の低下した人の援助 (体位変換：長座位から端座位、端座位から仰臥位、端座位から立位)			講義・演習	
7	運動機能の低下した人の援助（歩行・車椅子での移動援助）			講義・演習	
8	運動機能の低下した人の援助（ストレッチャーでの移動援助）			講義・演習	
9	安静保持の援助			講義	
10	睡眠の援助			講義・まとめ	
受講上の注意			評価方法 筆記試験 100点		
使用するテキスト 基礎看護技術Ⅱ（医学書院）					
参考文献 写真でわかる基礎看護技術アドバンス（インターメディカ）					

*病院での実務経験を有する教員が、その経験を活かして講義する